

「世界に知られるアニメシティに ～三鷹市をジブリの世界観で包む」

チーム名：Chuo Line User

山形 拓也，岡崎 希実，吉田 礼，菊池 健，前川 知佳，加藤 美織，福島 直哉

ゼミ教員：後藤康浩

亜細亜大学 都市創造学部 都市創造学科 後藤ゼミ

キーワード：ジブリ美術館，都市ブランド，魅力発信

(1) 研究の要旨

充実した都市機能と良好な居住環境、著名な施設を有しながら、その魅力が十分に国内外に認知されていない三鷹市の価値向上策を探究するものである。

(2) 背景・目的

三鷹駅周辺を散策した際に落ち着いた雰囲気と利便性の高さを併せ持ち、都心へのアクセスが良好で理想的な環境であると感じた。またジブリ美術館や井の頭公園沿いの緑地、魅力のある商業施設も所在している。だが、三鷹市の魅力は十分に知られていないのではないか、という問題意識ももった。中央線沿線、東京都内という立地に限定されない三鷹独自の価値や存在感を世界にアピールすべきだという考えを持った。

(3) 目標

三鷹市の魅力発信とグローバルな都市ブランドとしての確立

(4) 研究提案概要

三鷹市は、世界に幅広いファンのいるスタジオジブリ作品の世界観を象徴するジブリ美術館とその周辺に緑豊かな魅力的な環境を有している。その潜在的な価値が十分に世界に発信できていないのはこれほどインバウンド観光客が増えても、JR 三鷹駅に降り立つ外国人観光客をあまりみかけないことでわかる。三鷹市の魅力を、ジブリをフックに観光客に訴求し、市内の人の回遊性を高め、消費など地域経済の活性化を目指す。例えば、三鷹駅からジブリ美術館までの動線における景観設計やジブリキャラクターを活用したストリートファニチャーの配置、街灯をジブリのテーマデザインに換え、市内公共交通機関のビジュアルも関連させることなどである。三鷹市全体がジブリワールドになることで、海外からの注目度は一気に高まる。加えて、井の頭公園における季節イベントの企画（花見・夏祭り・紅葉・イルミネーション）や大学オーケストラとの連携によるジブリ映画のテーマ音楽演奏会の開催などで年間を通じて人を集める

ことのできる都市となる。合わせて、アニメーションの制作スタジオなども市内に誘致し、「アニメシティ」という都市コンセプトを世界に発信する。